



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 7 月 11 日(月) 西目高校校外学習～能代学習ツアー～ 編

平成 23 年度「森づくり県民提案事業」に採択された「西目高校木育(もくいく)スクール 2011」の一環として、今年も秋田県立西目高等学校の土木系列の 6 名の生徒さんと 3 名の引率の先生が木高研へおいでになりました。

木高研では、佐々木先生から研究所の説明を受けたあと、所内のいろいろな実験施設を見学しながら、木材の特性や木材がどんなところで活用されているのかを学びました。

その後は、ネットワークのスギ機材の製作でお世話になっている相澤銘木さんにかがいがい、信太さんに工場内を案内をしていただきました。猛暑の中、節電モードの工場を、みな汗だくになりながら集成材のできる過程から柱や敷居ができるまでを見学しました。

西目高校野球部は夏の大会を勝ち進んでいて、午後にはその練習があったため、今年は毘沙門憩いの森公園の見学やカーブ体験をしていただけなかったのが残念でしたが、機会があれば第二弾として、またおいでいただきたいと思いました。

木育スクールも今年で 5 回目です。これからも西目高校な取り組みとして、是非、継続して行ってほしいですね。

文： 渡辺 千明

秋田県立西目高等学校の HP: <http://www.nishime-h.akita-pref.ed.jp/>



学習会は研究所の概要説明から始まりました。



熱と水分で変化する木材の性質を知る実験を山内秀文先生の指導を受けて行いました。



試験体の強さを調べる強度試験室や実大実験住宅の見学もありました。



工場ではフィンガージョイントという集成材をつくる時の木材のつなぎ方(上)や住宅の中ではわからない集成材の秘密を教えてくださいました(下)。